

1 「心を磨く生徒」を育成するために (H 2 7 花園中・教育公約)

部がH 2 7の変更点

(1)学習で「心を磨く生徒」を育成します。

- ①「立志と忠恕」を基盤に、「時・場・礼」を実践し、学習で「心を磨く生徒」を育成します。
- ②朝自習を徹底し、自主性や克己心を養い、落ち着いた雰囲気で学力向上に努めます。
- ③チャイム開始・終了の徹底を図り、授業に積極的に取り組む基本姿勢の確立を図ります。
- ④「起立・礼・着席」「お願いします」「ありがとうございました」「はい」「です」「ます」など、礼儀を徹底し、「時・場・礼」に応じた適切な対応ができるよう指導します。
- ⑤教師の話や友達の発表をしっかりと聞き、はっきりした声で発表できる生徒を育成します。
- ⑥生徒のキャリア発達を図り、希望と忍耐力を持って着実にやり抜く強い精神力を育成します。
- ⑦道徳、特別活動、総合の連携を図り、キャリアの発達と豊かな人間性の育成を図ります。
- ⑧修学旅行、自然体験学習、スキー教室等の体験活動を重視し、生徒の主体性や自律性を高めます。
- ⑨体育祭や音楽会等の学校行事を通し、団結力・協調性などを育成し、達成感を味わわせます。
- ⑩給食を通して奉仕や協力・協調の精神を養い、好ましい人間関係を育成します。
- ⑪星を観る会や愛のプロジェクト等の栽培活動をととし、自然と関わりながら、生命の尊さや自然に対する畏敬の念・感動する心、思いやりの心などを育成します。

(2)清掃で「心を磨く生徒」を育成します。

- ①清掃を心を磨く時間と位置づけ、勤労や奉仕に対する好ましい価値観を育成します。
- ②清掃の目的や具体的な方法を理解させ、喜んで主体的に取り組む生徒を育成します。
- ③清掃委員や生活向上委員を中心に、組織的に15分間真剣に取り組む生徒を育成します。
- ④場を清めることの心地よさ、清々しさ、達成感等を味わわせ、美しい花園中学校を形成します。
- ⑤毎週月曜日を「クリーン MONDAY」とし、5分間の清掃に対する心構えの時間を特設し、心を磨く清掃活動を実践します。

(3)生徒会活動や係活動で「心を磨く生徒」を育成します。

- ①花と緑の教育主任を中心に「心を磨く」花育活動を組織的に推進します。
- ②生徒会本部や専門委員会を中心に、ありがとう運動など「心を磨く」活動を計画・実践します。
- ③学年委員会を中核に、各クラスでは学級委員を中心に「心を磨く」活動を推進します。
- ④福祉委員会が核となり社会福祉協議会と連携し、奉仕活動や公共の福祉の活動を実践します。

(4)部活動で「心を磨く生徒」を育成します。

- ①生徒の自主的・自発的な参画を図り、意欲の向上や責任感、連帯感の涵養を図ります。
- ②部活が多くの人々の支えにより運営されていることを理解させ、感謝をもって取り組む生徒を育成します。
- ③「HAPPY FRIDAY」をととし、「時・場・礼」を徹底し、部活動規律を高めます。
- ④日々の練習を通し、チームワークや不撓不屈の精神等、克己心等を育成します。
- ⑤勝敗を超えた部活動の意義や価値について学び、精神的な成長を図ります。

(5)家庭・地域との連携で「心を磨く生徒」を育成します。

- ①定期的な家庭との情報交換により、基本的な生活習慣の確立を図ります。
- ②公民館運営審議会、青少年健全育成会議、自治会長会議等に参加し、健全育成に関し学校と地域の協力体制をつくります。
- ③学校応援団の安心安全支援部及び花園中学校サポーターチームと協力し、青少年健全育成を図ります。
- ④「時・場・礼」の基本項目を明確にし、家庭と連携した「時・場・礼」の徹底を目指します。
- ⑤幼・小・中合同学校保健委員会を中心に、メディアコントロールの取り組みを進展させます。
- ⑥欠席がちな生徒とは家庭訪問等で密接な連携をとり、信頼関係を基盤に学校復帰を図ります。

2 「真摯に学ぶ生徒」にするために（H27 花園中・教育公約）

(1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させます。

- ①教師自らが指導内容について深く研究し、基礎的・基本的な知識及び技能の徹底を図ります。
- ②指導計画を工夫し、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる時間の確保を行います。
- ③反復学習、小テスト、ワークシートなど、定着方法の工夫を図ります。
- ④本時の目標や整理した学習内容等の板書により、生徒のノートのとり方を効率的にします。
- ⑤複数の学校総合支援員を中核に、基礎的・基本的な学習内容の補充学習を行います。
- ⑥必要に応じ、休業中、定期テスト前、放課後等に基礎力向上のための補充学習を行います。
- ⑦学校総合支援員を中核に、学生ボランティアと連携し、1・2・3学年の基礎学力向上講座を開設します。

(2) 基礎的・基本的な知識・技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成します。

- ①教師自らが指導内容について深く研究し、思考力、判断力、表現力の育成を行います。
- ②指導計画を効率的に運用し、思考力、判断力、表現力等を習得させる時間の確保をします。
- ③単元等の指導計画を見直し、課題解決的な学習や探究的な学習の充実を図ります。
- ④観察・実験、現地踏査、レポート作成、推敲、発表・討論等を工夫し、思考力、判断力、表現力を育成します。
- ⑤言語活動の充実を図るため、記録、要約、説明、論述等を授業に位置づけます。
- ⑥各教科、特別活動、総合、学校行事等の掲示物を計画的に作成し、表現力や伝達能力の向上を図ります。
- ⑦「忠恕」を重視し、生徒相互による「学び愛」「教え愛」活動を行い、温かい学習集団を育成し、思考力、判断力、表現力の育成を図ります。

(3) 学習意欲の向上や学習習慣の確立を図ります。

- ①キャリア教育として1年生での「座右の銘」、2年生での「職場体験」や「立志式」を中核に、夢やあこがれ、学ぶ意義など目的意識の具現化を図り、生涯に役に立つ基本姿勢を育成します。
- ②「学びゲーショ」を活用し、学習習慣の確立を図り、家庭学習の積極的な取り組みを進めます。
- ③少人数指導、個別指導、補充学習等により、分かる喜びを味わわせ学習意欲向上につなげます。
- ④英語検定、漢字検定、深谷チャレンジなど各種検定への取り組みを積極的に行い、資格取得を目指します。
- ⑤生徒による授業評価を実施し、R-P-D-C-Aサイクルを生かした授業改善を行います。
- ⑥家庭学習の質・量と学業成績の関係を鑑み、家庭学習の習慣を徹底させ、自主的・自立的な学習習慣の確立を図ります。

3 「体を鍛える生徒」にするために（H27花園中・教育公約）

(1)新体力テストの結果等を踏まえ、体力づくりの充実に努めます。

- ①運動の喜びや楽しさを味わわせ、体力を高める授業の工夫をします。
- ②基礎的な体力の向上や仲間と協力し合える場の工夫をします。
- ③身体を動かす機会を増やしたり、耕地内体力向上コースの工夫や運動環境の整備に努めます。
- ④部活動は、地域や各種団体との連携を工夫し、体力、責任感、連帯感等が涵養できるよう取り組みます。
- ⑤体力テストの結果等の効果的な掲示により、体力向上の環境作りを行います。

(2)意図的・継続的な健康・安全教育を推進します。

- ①早寝、早起き、朝ごはん等の基本的な生活習慣を身に付けられるよう工夫をします。
- ②健康診断票や保健だよりで家庭との連携を図り、健康教育に力を入れます。
- ③養護教諭と教科担当とのティームティーチングにより、健康教育の増進を進めます。
- ④HQCやメディアコントロールを活用し、心身の健康に主体的に取り組む生徒を育成します。
- ⑤体育祭、林間学校、スキー教室、薬物乱用防止教室等をとおり、健康・安全に関する自律的な態度を育成します。
- ⑥学校給食の充実に努め、健康の保持増進を図りつつ、豊かな食育を推進します。
- ⑦自転車の安全な乗り方等を徹底し、交通事故の絶無を目指します。
- ⑧部活動の適切な指導と見届けにより、部活動事故の絶無を目指します。
- ⑨スマートフォン等の利用については、「安心ふっかネット」の約束を遵守するよう指導します。
- ⑩男女の健全な関係を育成するために、性教育講演会やT.Tによる性教育を行います。

(3)「身・心相即の理」の下、立腰教育を推進します。

- ①授業の開始時に、腰骨を立て、アゴを引き、つねに下腹の力を抜かぬよう正しい姿勢の指導を徹底します。
- ②立腰教育と学習効果の関係（心と体の関連性）を理解させ、主体的に立腰教育に取り組めるよう指導します。
- ③絵図等の掲示を工夫し、立腰教育の見える化を実践します。

4 「信頼される学校」にするために（H27 花園中・教育公約）

(1) 信頼される職員集団を形成します。

- ①教師という仕事は、子どもたちの人生を左右する最も大切な仕事であることを自覚します。
②「教師は最高の教育環境である」ことを踏まえ、「良い教師」の条件を基盤に置き、日々の教育に取り組みます。（ダニエル・ゴールマン SOCIAL INTELLIGENCE より）

良い教師

- ・話をよく聞いてくれる
- ・励ましてくれる
- ・情報を伝えてくれる
- ・勇敢
- ・ユーモアがある
- ・共感を示す
- ・決断力がある
- ・責任をとる
- ・謙虚
- ・権限を生徒と共有する

悪い教師

- ・何を言っても通じない
- ・人を疑ってかかる
- ・情報を隠す
- ・他人に威嚇的
- ・気難しい
- ・自己中心的
- ・優柔不断
- ・他人のせいにする
- ・尊大
- ・生徒を信用しない

(2) 「日々研修」を旨に切磋琢磨する教職員集団を構築します。

- ①「深谷の子6つのちかい」を基盤に、夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある花園の子の育成に努めます。（夢・勉強・体験・あいさつ・くつそろえ・心のこもったことば）
②計画的、継続的な職員研修により、教職員の指導力を高める工夫をします。
③学校研究課題に基づいた研究・研修を行い、組織的な教育力の向上を図ります。
④生徒・保護者・地域の方の声に謙虚に耳を傾け、時宜に改善を図り、真摯に対応します。
⑤生徒・保護者・地域の方等との対応において、相手意識に立った接遇に努めます。
⑥部活動においては、生徒との信頼関係を樹立し、一人一人の個性を活かす指導を行います。
⑦年間のシラバス（学習内容・計画・評価）を配布し、家庭との連携に努めます。
⑧評価規準や観点別学習評価規準を明確にし、信頼される評価・評定にします。
⑨定期的に職員相互の授業参観を実施し、参考点や改善点などを観察し学びあう組織にします。
⑩倫理確立委員会を中核に、適切な資料提供を行い、職員による事故の絶無を目指します。
⑪教師自ら「時・場・礼」を実践し、花園教育を担う品格のある教師を目指します。

(3) 組織マネジメント(R-P-D-C-Aサイクル)を活用し、信頼される学校を目指します。

- ①学校評価を実施し、ホームページ等で報告するなど、学校の説明責任を果たします。
②学校評議員・生徒・保護者・教職員による学校評価を生かし、よりよい花園中学校を構築します。
③学校評価で明確になった課題に対し、計画的・組織的に改善策を講じます。
④花園中・教育公約の評価を年2回行い、R-P-D-C-Aサイクルによる校教育目標の実現を図ります。

(4) 地域連携を積極的に推進し、開かれた学校づくりを推進します。

- ①自治会長、民生委員、児童委員、学校応援団等との連携を深め、地域と連携した教育を推進します。
②学校応援団体制を発展させ、自治会・民生委員会・公民館活動等との連携強化を図ります。
③学校だよりやPTA新聞等を適時発行し、学校の教育活動や生徒の様子を家庭・地域へ発信します。
④生徒の個人情報に配慮しつつ、ホームページを随時更新し、適切な情報発信に努めます。
⑤各種掲示物やカレンダー等を工夫し、開かれた学校づくりを推進します。
⑥深谷市校務支援メニューの連絡メールを活用し、適切な情報提供を行います。

(5) 教育環境を整備し、安心・安全な学校づくりに努めます。

- ①危機管理マニュアルを充実し、安心・安全な学校づくりに努めます。
②定期的な安全点検を実施し、危険箇所等の絶無を目指します。
③災害時に利用が期待される「緊急連絡ページ」の運用率の向上を図ります。
④交通安全（自転車の乗り方等）マニュアルを見直し、交通事故の絶無を目指します。
⑤PTAと協力し、通学路の安全再点検を実施し、危険箇所の把握と安全対策を実施します。
⑥PTAや学校応援団の協力により、年3回の環境整備を実施します。
⑦防災マニュアルを見直し、直下型地震や東南海地震に備えた実践的なものにします。
⑧危機対応マニュアルを見直し、事故発生時及びその後の対応体制を充実します。
⑨いじめ防止対策委員会を中心に、日々の情報収集を行い、いじめの絶無を目指します。